

市議会だより なかま

No.189

Shigikaidayori NAKAMA
2024.2.10

<https://www.city.nakama.lg.jp>

3月 6月 9月 12月



- 委員会行政視察報告 2～4
- 12月定例会の概要と議決結果 5～7
- 一般質問 8～11
- 中間市議会からのお知らせ 12

■埼玉県富士見市

STEM教育について

富士見市では、令和元年度から埼玉大学との共同研究により、科学技術を駆使した問題解決ができる将来活躍する人材育成やシティブロモーションの観点から、ロボット作りやプログラミング等のものづくりを通じて学習することで、子供達の論理的思考力や創造性、問題解決能力の向上を図ることを目的としたSTEM教育が実施されています。令和2年度に、STEM教育が実施されています。令和2年度に、STEM教育が実施されています。令和2年度に、STEM教育が実施されています。



▲富士見市役所前

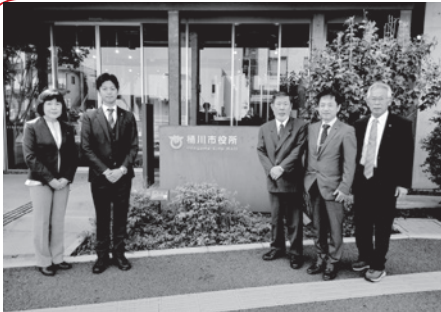


▲富士見市での行政視察の様子

■埼玉県桶川市

公民連携による複合施設「フレスポ桶川」の整備について

桶川市では、公共施設であるコミュニティセンターと図書館、民間施設のスーパーマーケットやドラッグストア等が複合した地域生活の拠点として公共と民間が連携した施設である「フレスポ桶川」が運営されています。公民連携手法による事業用定期借地権方式(市有地活用策)を採用し、民間のノウハウを施設づくりに取り入れることで、良質な公共サービスの提供と、財政負担の軽減が図られるとともに賑わいが創出され、施設の利用者数や稼働率も高く、市民の方に喜んで利用される施設となっていました。



▲桶川市役所前



▲桶川市での行政視察の様子



■埼玉県入間市

EV活用再生可能エネルギーマネジメント事業について

入間市では、令和3年2月に入間市と近隣4市でゼロカーボンシティ共同宣言を表明し、令和5年2月から太陽光発電設備とEV(電気自動車)の導入により、EV公用車使用による環境負荷の低減と、再生可能エネルギーの活用の取組みがなされています。発電した電力をEVに供給するとともに余剰電力は市役所本庁舎で使用され、また、EVを公用時間外にカーシェアリングサービスとして市民・観光客の方に使用してもらうことで、EVの普及促進と地球温暖化防止に対する意識啓発が図られています。さらに、災害等により停電となった際には、地域レジリエンスの強化として、EVを避難所等に派遣し、電源として利用できる取組みがなされていました。



▲入間市役所前



▲入間市での行政視察の様子

■東京都板橋区

障がい者自立支援に係る農福連携事業について

板橋区では、障がい者の自立と農業を支える人材の育成を目指し、障がいのある方たちが農業に従事する「農福連携」の取組みが推進されてきました。市の基本計画「いたばしグリーンプラン2025」の中にも施策として掲げられ、令和2年には、企業向け貸し出し農園施設を運営する民間企業と障がい者就労の充実に関する協定を締結されています。協定締結により、農園での障がい者の就労機会の充実を図られ、協定先の農園開設によって200名弱の障がい者雇用が創出されるなど、障がい者の自立促進の取組みがなされてきました。



▲板橋区役所役所前

■東京都八王子市

夏季休業中の学童保育所における昼食提供について

八王子市では、夏季休業中の児童生徒の健康維持増進、保護者の負担軽減を図ることを目的に、令和元年度から小学校給食調理室の調理機能を活用し、学童保育所において昼食を提供する事業が開始されています。昼食提供は、上限を5日間として、令和元年度に2校の小学校で開始され、令和5年度には42校の小学校で実施されていました。また、令和4年度からは、放課後子ども教室においても、試行的に昼食提供を始められており、学童保育所に通えない子に対しても長期休暇中に栄養バランスのとれた昼食提供の取組みが推進されていました。



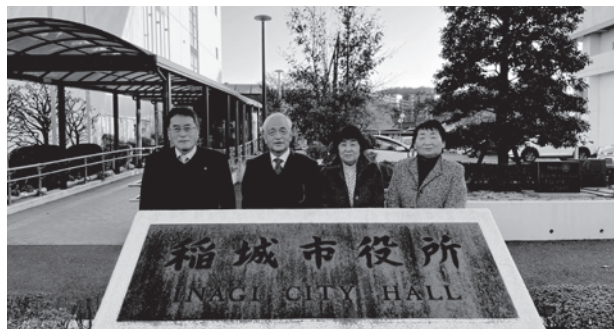
▲八王子市役所前



■東京都稲城市

ICTを活用したひとり暮らし高齢者見守りサービスについて

稲城市では、今後の高齢者人口の増加、また、見守りの担い手の減少を見越し、これまでの対面による見守り体制の補完として、「見守り電球」を用いた見守り事業が試行的に導入されました。「見守り電球」とは、自宅に通信機能と一体となったLED電球を設置することで、一定期間点灯・消灯の動きがない場合、事前に登録した通知先にメールでお知らせがなされるサービスです。ICTを活用することで、日常生活に変化を加えることなく、ゆるやかに見守りができ、ひとり暮らしの高齢者の日常生活の不安の軽減が図られていました。



▲稲城市役所前

■東京都千代田区

ソーシャルグッドロースターズ千代田（福祉施設見学）

見学した施設は、「誰一人、取り残さない」というビジョンのもと、障がいのある方がコーヒーを通じて自立することを支援するロースターカフェ併設の就労継続支援施設です。障がいがある焙煎士やバリスタが活躍されており、様々な障がいのある人たちが、生豆の選別から焙煎、ドリップ、接客に至るまでの様々な役割を、それぞれの得意な分野を担当しながら専門的な経験を積める就労の場として活用されており、平等に社会の一員として活躍できる場の創出がなされていました。



▲ソーシャルグッドロースターズ千代田店

■埼玉県越谷市

トイレトレーラーの導入について

越谷市では、令和4年3月に埼玉県で初めてトイレトレーラーを導入しました。トイレトレーラーとは、災害時の利用を想定して作られた移動設置型トイレで、4基の洋式トイレと貯水タンクを備えており、水洗式で稼働します。またソーラーパネルを搭載しており、停電時でも照明や換気扇などを使用できるなど大規模災害時に活用されています。

現在、全国で20自治体が導入しており、他の導入自治体では、他の自治体で災害が起きた際には、トイレトレーラーを派遣しており、災害派遣としても活用されていました。



▲越谷市での行政視察の様子

■東京都

東京消防庁本所防災館

防災館とは、国民の安全な暮らしを目指し、地震の揺れ、初期消火や応急救護、避難要領などを体験しながら、防災の知識や技術を学ぶ施設です。防災体験ツアーを予約し、自然災害コース（地震、煙、暴風雨、都市型水害）を体験してきました。地震体験では実際に屋内で地震の揺れを経験し、暴風雨体験では雨具を着て、屋外で暴風雨にさらされた状態を体験できるなど、災害を実体験として経験し、その対応を学ぶことはとても貴重な経験でした。



▲東京消防庁本所防災館

■埼玉県三郷市

インクルーシブ公園整備事業について

三郷市では、障がいの有無に関わらず全ての子ども達が、分け隔てなく遊べる公園を整備することで誰もが互いの違いを理解し、支えあう共生社会の実現を目指しています。インクルーシブ公園とは、障がいの有無に関わらず子ども誰もが遊べるユニバーサルデザインの遊具等を備えた公園です。市民の声として、「車イスのまま利用できる砂場のおかげで初めて子どもに砂場で遊ばせてあげることができました。」など誰もが分け隔てなく遊び、様々な子ども達が交流できる場として活用されておりました。



▲インクルーシブ公園

■東京都荒川区

地域猫、犬への取組みについて

避難所へのペットの同行避難について

荒川区では、飼い主のいない猫問題を地域の問題としてとらえ、屋外の猫問題の解決に取り組む地域の方々の申請を受け、登録された団体に対し不妊・去勢費用の助成、不妊・去勢用の捕獲器の貸し出しなどの支援を行うなど、地域と行政が一体となり問題に取り組みました。

また、ペットとの同行避難の取組みとして、令和2年度からペットの避難場所を指定し、避難者と分離した場所に専用スペースが設けられており、災害に備え、同行避難も考慮された避難計画やマニュアルも整備されていました。



▲荒川区での行政視察の様子



12月定例会の概要と議決結果

12月定例会の概要と結果(11月28日~12月14日)

令和5年第5回(12月)定例会におきましては、諮問1件、議案16件、意見書3件、決議案1件が提出され、11月28日から12月14日までの17日間で審議されました。12月定例会において審議された主なものについて、ご紹介します。

議案番号	議案名	議員名(議席番号順)														議決結果	
		小 林	堀 田	田 善	蛙 田	柴 田 芳	田 口 澄	山 本	安 田	掛 田	中 尾	阿 部	大 和	柴 田 広	下 川		井 上
市長提出議案																	
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適認
第42号議案	令和5年度中間市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第43号議案	令和5年度中間市特別会計国民健康保険事業補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第44号議案	令和5年度中間市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第45号議案	令和5年度中間市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第46号議案	中間市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第47号議案	中間市事務分掌条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第48号議案	中間市職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第49号議案	中間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第50号議案	中間市保健センター設置条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第51号議案	中間市総合会館条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第52号議案	中間市中央公民館条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第53号議案	公の施設の指定管理者の指定について(中間市さくらの里農産物直売所)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	○	○	原案可決
第54号議案	公の施設の指定管理者の指定について(中間市民図書館)	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第55号議案	公の施設の指定管理者の指定について(中間市体育文化センター外7施設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第56号議案	公の施設の指定管理者の指定について(中間市市民会館)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第57号議案	令和5年度中間市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案																	
意見書案第11号	医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
意見書案第12号	パレスチナ問題での国連決議推進のために、日本政府は尽力することを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	原案可決
意見書案第13号	食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	原案可決
決議案第1号	福田浩中間市長に対する辞職勧告決議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	原案可決

中間市第5次総合計画基本構想の策定に関する審査特別委員会について

令和5年6月定例会において、第37号議案の上程に伴い特別委員会が設置され、審査を進めてきましたが12月定例会において、執行部からの撤回の申し出を受け、本会議において可決されたため、特別委員会の審査は終了することになりました。

○ 可 決

令和5年度中間市一般会計補正予算（第7号）

【歳出の主なもの】

・障がい福祉サービスに係る扶助費・・・8,730万円

新型コロナウイルスの5類移行に伴うサービス利用者増加に対応するため、給付費額の増額を行いました。

・まちづくり推進に要する経費・・・409万円

JR 中間駅、筑前垣生駅及び筑豊電気鉄道東中間駅の駐輪場に自転車の盗難等の犯罪抑止を目的とした防犯カメラを更新、設置します。

・保育所等物価高騰対策費補助金・・・164万円

県補助金を活用し、保育所等に対し、電気代及びガス料金並びにガソリン代の高騰分を補助します。

○ 可 決

中間市事務分掌条例の一部を改正する条例

【機構改編の主な内容】

良質な市民サービスを提供するに当たり、令和6年4月1日からの機構改編に伴う条例が可決され、本市の機構が7部31課1室3局から8部30課3室3局になります。

また、国からこども家庭センターの設置が市町村に義務付けられ、総合会館に設置されることから同館は福祉及び保健に関する機能を集約し、総合的な行政サービスの拠点施設になります。

中間市総合会館

保健福祉部 こども家庭センター

- ・保健福祉部 子ども未来課 母子保健係
- ・保健福祉部 子ども未来課 家庭児童相談係
- ・保健福祉部 子ども未来課 こども支援係

- ・保健福祉部 健康増進課 健康係
- ・市民生活相談センター（認定NPO 法人抱樸）
- ・社会福祉法人 中間市社会福祉協議会

○ 可 決

令和5年度中間市一般会計補正予算（第8号）

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について】

・物価高騰緊急支援給付金・・・5億400万円

国において物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加交付が決定され、住民税非課税世帯1世帯当たり7万円を基礎とした低所得者世帯支援枠が措置されたことから、本市におきましても給付を実施することとなりました。

対象要件：令和5年12月1日時点において、中間市内在住の**令和5年度住民税非課税世帯**

給付金額：**1世帯当たり7万円**

○ 可 決

福田浩中間市長に対する辞職勧告決議

北九州市で開催された会合における市長の発言について、小林信一議員ほか5名の議員から辞職勧告決議案が提出されました。本決議案は賛成8名、反対7名で可決されました。

賛 成

今回の発言は市長個人の問題ではなく、全国的に中間市の評価を下げる結果になったにも関わらず、市民への直接謝罪がないことは市民への裏切りである。

反 対

市長の発言は重いものであったが、発言撤回と全員協議会等で謝罪を行っており辞職勧告を行うほどではない。また、市長は中間市の財政が一番厳しい時期に財政再建を行ったという実績もある。

人 事 紹 介 <<敬称略>>

委 員 名	氏 名
人権擁護委員候補者	花 田 美奈子
中間市選挙管理委員	原 田 慶 雄
	井 上 俊 子
	松 本 充 子
	平 池 千 里
中間市選挙管理委員補充員	第1順位 安 田 光太郎
	第2順位 渡 邊 美由紀
	第3順位 大 塚 隆 章
	第4順位 水 口 厚

阿部伊知雄議員

(公明党)



近年市内に出没する野生動物への対応について

市街地におけるサルやイノシシ、シカ等の野生動物の出没の現状とその原因について伺います。

産業振興課長

野生のサルが本年9月に通谷二丁目、翌10月には中間北中学校に出没し、10月末には中間一丁目イノシシが出没しています。原因の1つとして、野生動物に食べ物を与えたり、ごみなどの放置により野生動物が餌付け状態になっていることが考えられます。

議員

野生動物が市街地に出た時の市の対応、市民及び児童生徒への周知、安全確保はどのように行っていますか。

産業振興課長 市民等

への注意喚起のため、

警察署、消防署、環境

保全課へ連絡し、地域

の見回りや追い払い、

スピーカー車等による

周知を行います。児童

生徒については、学校

指導課から各小中学校

へ情報提供を行い、学

校ごとに児童生徒に指

導を行います。幼稚園、

保育園等については、

こども未来課から情報

提供を行い、安全対策

の周知を行います。



▲捕獲されたイノシシ

燃油価格の上昇、物価

高騰の市民生活への影響に対する市の対応について

物価高騰による市民生

活への影響を市の執

行部はどのように感

じておられますか。

市長 国の動向を見極

めながら、本市の実情

にあった支援を実施

し、市内消費の喚起及

び地域経済の活性化に

努めていきたい。

議員 市民生活を経済

面で支える本市の施

策にはどのようなも

のがありますか。

市長 昨年度に引き続

き、水道基本料金減

免事業を実施し、子

育て世帯への支援を

目的とした市内小中

学校の学校給食の保

護者負担額を全額補

助しています。

議員 重点支援地方交

付金が交付された場合

の使い道について見解

をお聞かせください。

市長 現時点で、国か

らの交付限度額が明示

されておりませんが、

明示後は、安全安心な

市民生活を営むための

支援に取り組みます。

市長 国はどうか

について

蛙田忠行議員

(日本維新の会)



北九州下関フェニックスアリーナ報告会でのハラスメント発言について

ハラスメント発言について市民の皆様

に公式に謝罪される

予定はありますか。

市長 プレス記者会

見や全員協議会で謝

罪を行っておりますの

で、改めて市民の皆様

に謝罪を行うことは考

えていませんが、失わ

れた信頼を取り戻すた

めに、全力で市政運営

に取り組みます。

議員 発言をハラスメ

ントと認識された理

由について伺います。

市長 場を和ませるた

めと思っていた発言

が、時代によっては

不適切でハラスメン

トになると気づいた

ためです。

スメント根絶条例の

認識について伺いま

す。

市長 地域共生社会の

実現に不可欠な指針

と捉えており、市議

会議員の皆様や、市

職員同士が互いに尊

重し、信頼を築くこ

とが不可欠だと認識

しています。

議員 ハラスメントに

ついてどのような学

習、体験をされたの

か伺います。

市長 本市の顧問弁護

士にお願いし、研修

を受講しました。

議員 ハラスメント

発言が行われる前に、

ハラスメント等の研

修等を受けられまし

たか。

市長 受けていませ

ん。

議員 ハラスメントに

ついての社会的な定

義を伺います。

市長 他者に対し不当

な圧力や嫌がらせを

加える行為を指しま

す。

議員 政治家のハラス

メント報道について

どのような感想をお

持ちか伺います。

市長 私自身深い反

省の念を抱いており、

ハラスメントを含む

あらゆる不適切な行

動を排除するよう努

力していく覚悟でご

ざいます。

第5次総合計画について

第5次総合計画の

策定に関する今後の

方針を伺います。

副市長 第4次総合計

画の総括及び成果と

課題の検証を行った

上で、議員の皆様か

らのご意見を十分精

査し、改めて中間市

第5次総合計画基本

構想を議会にお諮り

したいと考えていま

す。

掛田るみ子議員

(公明党)



子宮頸がん撲滅に向けた取組みについて

男性のHPVワクチンの接種について

令和4年度から子宮頸がん予防のワクチン接種の積極的勧奨が再開されましたが、接種を逃してしまっ

たキヤッチアップ対象者に対する市の取組について伺います。

健康増進課長 令和4年度から3年間キヤッチアップ接種を実施して

います。また、キヤッチアップ接種対象者で未接種の女性1142名に個別

勧奨通知を発送しています。

不登校の児童生徒数について伺います。

本市の不登校の状況と支援について

教育部長 小学校で22名、中学校で6名です。

議員 適応指導教室を不登校対応の教育支援センターとして発

展整備することについて見解を伺います。

健康増進課長 令和6年度当初に、未接種者に対し、通知を送付する

予定としています。

保健増進課長 令和6年度当初に、未接種者に対し、通知を送付する

予定としています。

健康増進課長 令和6年度当初に、未接種者に対し、通知を送付する

予定としています。

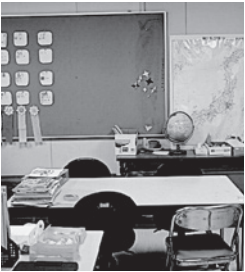
徒の支援拠点の充実強化に努めて参ります。

議員 適応指導教室に登録していない子供の学習支援はどうなっているのでしょうか。

教育部長 オンラインドリル教材の導入や家庭訪問などにより、児童生徒の学習や登校に向けての支援を行っています。

議員 校内の居場所づくりとして、専任教員を配置したスペシャルサポートルームを設置してはいかがでしょうか。

教育部長 空き教室や保健室等の部屋を確保し学習支援や教育相談を行う取組みを行っています。さらに支援員を配置するなどの人的な支援の検討も必要と考えています。



▲中間市適応指導教室

堀田克也議員

(明政クラブ)



本市の小学校と中学校における体育会(運動会)の実施状況と今後

の体育会(運動会)について

体育会(運動会)が行われる時期や日時の決定について伺

います。

教育部長 各学校の実施時期及び日時については、小中学校の校長会において協議し、校長が決定します。

現在、中学校は春、小学校は秋に開催しています。

議員 プログラムの内容や競技時間等についてどのよう

に決定されているか伺います。

教育部長 プログラム内容は、体育科学習指導の内容を踏まえ各学年の担当教員が

協議した上で決定します。

議員 体育会(運動会)を行う上で、子供達や保護者の意見を

取り入れてはいるか伺います。

教育部長 各学校では、競技に児童生徒のアイデアを取り入れたり、ダンスを児童生徒が作ったりするなどの児童生徒の主体性を生かす取組みもなされています。また、体育会(運動会)について保護者へのアンケートを実施している学校もあります。

議員 今後の体育会(運動会)の開催時間について、午前中のみの開催となるのか、午後までの開催になるのか。保護者の意見も様々あり、十分

に検討されるべき内容と考えますが、見解を伺います。

教育長 体育会(運動会)の目的は子供達が運動の楽しさや達成感を味わいながら、体力を向上させ協力や連携を学ぶとともに、主体性や自己有用感を育むこととされています。今後は、

体育会(運動会)の意義や教育目的達成のため、これまでの慣例や形式にとらわれないこと、その在り方について検討していく必要があると考えています。

議員 今後の体育会(運動会)の開催時間について、午前中のみの開催となるのか、午後までの開催になるのか。保護者の意見も様々あり、十分



中尾淳子議員

(公明党)



買い物弱者への支援について

本市では、買物弱者の方への支援として青空市場が市内6地域で月に1度開催されていますが、さらなる買い物弱者の方に対する支援の拡大について見解を伺います。



▲青空市場の様子

教育部長 保護者・地域・学校が力を合わせ、地域の実情や家

小学校での集団登校について

集団登校に関する現状の課題について伺います。

教育部長

登校班内での人間関係のトラブルや、地域によっては児童数が少なく班の編成ができない等の課題があります。

議員

登校班に入るのは個人の判断でしょうか。

教育部長

基本的には全児童を対象として行っています。

議員

集団登校について、安全性を確保した上での編成や地域の実情に合わせ、実施する地域を含め再検討されてはいかがでしょうか。

教育部長

保護者・地域・学校が力を合わせ、地域の実情や家

庭の状況等を鑑み、よりよい登下校の在り方を検討することにも必要だと考えます。

高倉健さん没後10年の記念行事開催について

高倉健さんが逝去され10年目を迎えます。没後10年の節目に当たり、追悼特別展を開催されてはいかがでしょうか。

市長

高倉健さんは中間市でお生まれになり、世界に名だたる大俳優として有名な方です。没後10年というところで、市民の方・関係団体の方・ご親族の方々と共に、記念行事の開催に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えております。



田口澄雄議員

(日本共産党)



学校給食費の無償化の継続について

来年度以降の給食費の無償化の継続について見解を伺います。

教育部長

来年度も給食費の無償化の実施を考えており、新年度予算に係る予算を要求しています。

議員

学校給食の無償化については、市長の選挙公約でしたが、昨年度までなされておらず、コロナ禍で1年間のみ実施したのが実態です。その点について見解を伺います。

市長

財政的な面を考慮するのも市長の責務だと考えております。市の運営全体を考慮し、事業を実施するか否かをしっかりと議論していく必要があると考えております。

財政状況について

令和4年度の決算では基金の積立てに18億円、歳入と歳出の差による黒字が11億円とありますが、今後の財政運営は厳しいと言えるのでしょうか、見解を伺います。

財政課長

基金の積み増しは財政構造を健全化した結果ではなく、短期的な事象に起因するものが大半を占めています。また11億円の黒字には赤字となっており、事業と合算した際市全体が赤字にならないよう調整を行ったことによるものです。財政状況は、短期的には危機を脱したものの、中長期においては未だに厳しい状況にあると判断しております。

中間市職員の状況について

正規職員数と非正規職員数を教えてください。

総務課長

正規職員は364人、非正規職員は191人です。

議員

正規と非正規の男女比について伺います。

総務課長

正規職員の内、女性の内、女性は2%、非正規職員の内、女性は76%です。

議員

給与格差はどうなっていますか。

総務課長

正規と非正規の給与の差額は初年度で60万円ですが、非正規職員の給与改定は本年12月1日から1万円前後引上げとなります。



▲学校給食

柴田芳信議員

(日本共産党)



中間市の総合会館ハピネスなかまの問題について

総合会館ハピネスなかまに、新たにこども家庭センター、民生

活センター及び健康増進課健康係が入所予定となっておりますが、その経緯と必要性について伺います。

保健福祉部長

総合会館は、全庁横断的な会議において検討した結果、令和6年度から福祉及び保健に関する機能を集約し、福祉・保健行政の拠点施設として活用することとして伺います。

議員

配置変更について利用者の意見を把握されているのか伺います。

福祉支援課長

利用者目線の意見を集約してありますが、今後利用者

から新たな意見があれば検討して参ります。

議員 イベントが開催された場合の駐車場のスペースについて伺います。

保健福祉部長

館内の各部署間で情報を共有し、駐車場が混雑しないよう配慮します。また近隣で駐車場が確保できますよう、民間事業者等と協議を行います。

議員

災害時における福祉避難所としての機能について伺います。

総合会館長

避難所スペースを4階和室とし、感染者対策として2階和室も使用することもできます。また1階から4階の各階に車イスで使用可能なトイレを設置し、トイレにはオストメイトの方が利用可能な多目的トイ

レを設置しています。
中間市における市民トイレについて

親水公園のトイレ解体工事について、修理可能な残してほしいとの要望がありました。市の見解を伺います。

建設産業部長

親水公園に設けられた市民トイレは、建築から27年間経ち、建物が木造であることから老朽化が著しく、修繕に多額な費用がかかること、加えてアスベストが検出されたことから、廃止・解体の方針に変わりはありません。



▲総合会館ハピネスなかま

安田明美議員

(福祉クラブ)



放課後児童クラブ等での子供への昼食提供について

9月定例会の一般質問の際お願いしておりました、放課後児童クラブ間の情報共有のための協議会設置の現状について伺います。

子ども未来課長

各クラブには協議会の設置を申し込んでおり、話合いの場を設け、協議会につなげていく予定です。昼食提供を行っていない3クラブの内、1クラブから昼食提供にご協力いただける了承がとれています。

議員

行政視察に行った八王子市では2か月に1度学童保育の運営に関する会議を開催し、学童保育所間の情報共有もなされることと伺います。

議員

行政視察に行った八王子市では2か月に1度学童保育の運営に関する会議を開催し、学童保育所間の情報共有もなされることと伺います。

議員

行政視察に行った八王子市では2か月に1度学童保育の運営に関する会議を開催し、学童保育所間の情報共有もなされることと伺います。

れるとのことと伺います。

議員 児童に対し、給食調理室を使用した昼食提供が可能か伺います。

学校教育課長

八王子市同様、平日の2から5日の期間で学校栄養士、学童保育所のご協力及び調理業務委託事業者が当該業務を受託いただければ実施可能です。

議員

学校栄養士の協力がいかんによって市の施策が左右されるのでしうか。

学校教育課長

教育委員会としては協力していただきたいと思います。確約をまだいただいていません。しかし、あ

る学校の栄養士及び校長に打診を行い、受諾していただける旨の回答はいただけています。

議員 困窮家庭における児童に対する昼食の提供について、放課後子ども教室を通じた昼食の提供はできないのか見解を伺います。

市長

今のところ開設予定はありません。地域において、主体的に運営されている子ども居場所づくりの事業が、放課後の取組みへとつながるよう支援を行い、設置方法について検討して参ります。



▲学童保育所

《中間市議会からのお知らせ》

「議会関係ハラスメント根絶のための議員研修」に参加しました

令和5年1月13日、福岡県議会主催の「議会関係ハラスメント根絶のための議員研修」に柴田芳信議員、掛田議員、阿部議員、大和議員が参加しました。

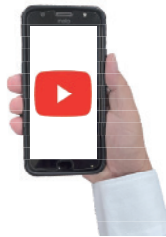


福岡県議会が開催しました研修会には、県内の市町村議会から300人を超える議員が参加されており、当日は、女性議員・候補者のサポート活動を行うStand by Women代表の濱田真理氏、元全国都道府県議会議長会事務局次長の内田一夫氏が講師として招かれ、それぞれ政治分野におけるハラスメント防止や議員のコンプライアンスについて講演されました。

▲ハラスメント研修の様子（左から柴田芳信議員、阿部議員、大和議員、掛田議員）

YouTube ライブ配信視聴方法

▼「議会—中間市公式ホームページ」選択画面



中間市議会 QR コード

- ①「中間市議会」を検索して「議会—中間市公式ホームページ」を選択します。
- ②「本会議・委員会 生配信」を選択すると、YouTube のライブ配信画面へ移動します。

公共施設での議会の生中継について

ハピネスなかま、なかまハーモニーホール及び地域交流センターにて、議会の生中継を行っています。議会開催日が休館日の施設では、中継は行いませんので、ご注意ください。



次の定例会は、2月27日(火)から開催します。

議員の一般質問は2月29日(木)午前10時から行います。

本会議及び委員会の日程は決まり次第、中間市のホームページに掲載します。

次の定例会

問合せ：議会事務局 ☎ 246-6220



会期日程 QR コード

残念ながら、水と空気には印刷できません...

<http://www.hidaka-print.com/>



(有)日高印刷所

〒809-0034 福岡県中間市中間一丁目4-16 TEL (093)245-0214 FAX (093)244-8760



藤木建設株式会社

- ◆土木建築工事業 ◆下水道更生管工事業 (SPR工法)
- ◆管・水道施設工事業 ◆とび・土木工事業 ◆舗装工事業
- ◆土壌改良及び地下環境保全 (リテラ工法)

〒809-0030 中間市中央1丁目9番30号1階

TEL 093-246-2355 FAX 093-246-0158

